

◆道路改築事業費

1. 事業概要

県土の基盤となる広域道路・地域内道路ネットワークを整備することで、産業や観光の振興に不可欠なヒト・モノの交流を支えるとともに、大規模災害時にも有効に機能するダブルネットワーク化を推進します。

2. 令和5年度実施内容

(1) 広域道路ネットワークを生かすインターチェンジ（IC）や拠点へのアクセス道路の整備

- ・高速道路・高規格道路のICに接続するアクセス道路の整備を推進します。
- ・重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備を推進します。

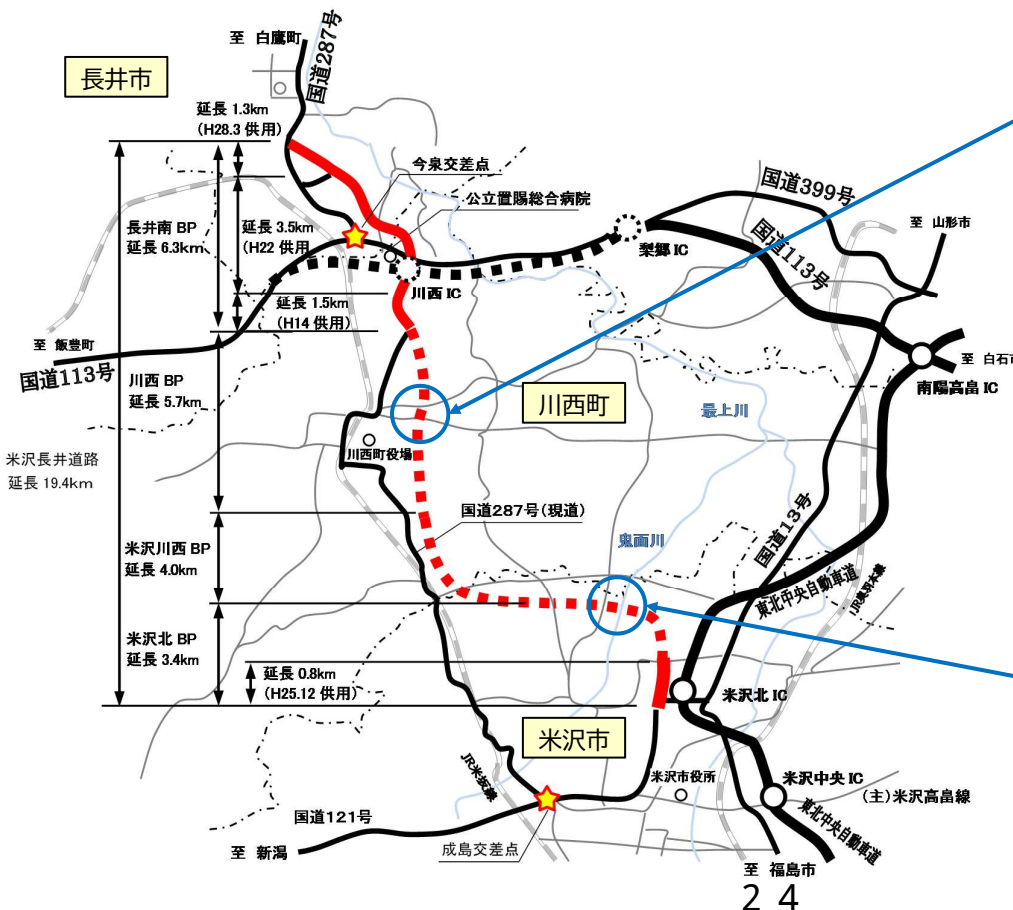
(2) 生活圏間、都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備

- ・一般国道や主要な県道において、道路の改築、拡幅やバイパスの整備を推進します。
- ・地域の実情に応じた効率的な整備を推進します。
(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)



(一) 村山大石田線（村山名取IC）
(R4. 10. 29供用開始)

◆事例紹介：国道287号 米沢長井道路



道路土工施工状況(川西町)



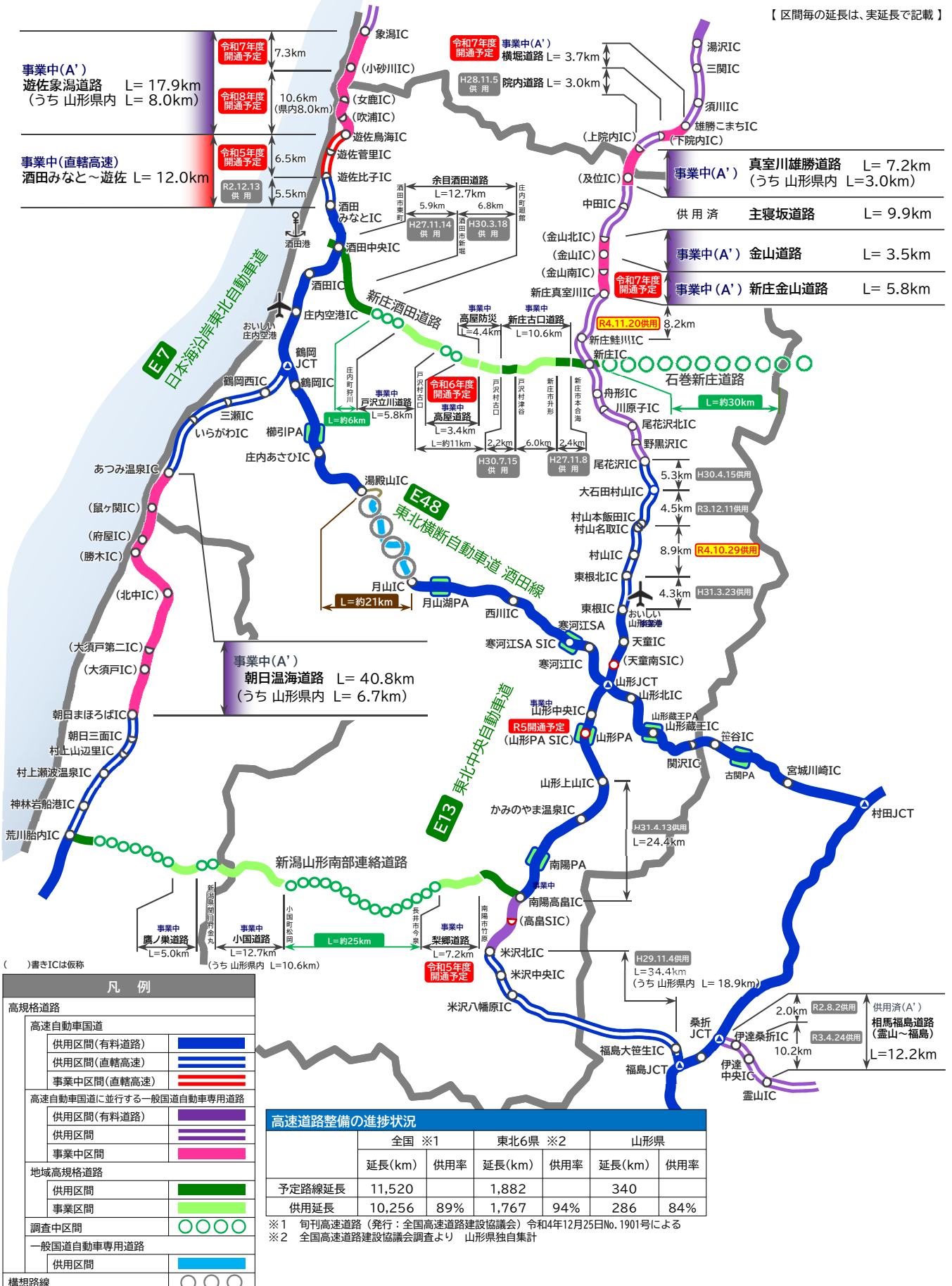
豊穰橋施工状況(米沢市)

2 多様な交流基盤の形成

山形県の高規格道路の整備状況

令和4年12月末現在

【区間毎の延長は、実延長で記載】



◆空港整備事業費 ～滑走路端安全区域の整備～

1. 事業概要

滑走路端安全区域（RESA）は、飛行機がアンダーシュートやオーバーランした場合などに、人命の安全と機体の損傷を軽減させるため、滑走路の両端に設けられる障害物が除去された区域です。

現在、山形空港及び庄内空港の滑走路端安全区域（RESA）は建設当時の基準である40m以上を確保していますが、平成29年に基準が改正され、原則90m以上が必要となりました。

そこで、本事業では、不足する分を延長し、航空機の離発着の安全を確保します。

2. 令和5年度実施内容

- ・山形空港におけるRESAの整備 L=7m（令和3年度開始）
- ・庄内空港におけるRESAの整備 L=50m（平成30年度開始）



◆山形空港・庄内空港の状況

